

鶏肉情勢

平成31年2月5日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容	
1. 国内	<p>(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会1月下旬実施)によると、平成30年12月の推計実績は、処理羽数はほぼ前年並み(前年比99.8%)だったものの、処理重量は寒暖の差が激しかったことなどから増体が思わしくなく、廃棄合計も3.81%(同0.12%増)となり、前月時点での計画190.6千ト(前年比98.3%)から更に下回り188.7千ト(同97.3%)となった。各地区で羽数に対して重量が伸び悩み(特に出荷間際の伸びに欠ける)との報告がある、特に南九州地区で前年比を5%以上下回った。なお平成30年累計では、前年に引き続き2,000千トを超えて過去最多を7年連続で更新する見通し(確報値は、例年5月頃に農水省から公表される)となった。</p> <p>(2) 平成31年1月-3月で、1月は処理重量が170.6千ト(前年比99.7%)と若干下回るもほぼ前年並みの計画。2月については処理羽数55,663千羽(同102.3%)・処理重量165.3千ト(同101.6%)とともに前年を上回る計画となっている。3月は、前年に比べ日曜日が1日多い関係で処理羽数60,279千羽(同99.3%)・処理重量179.1千ト(同99.3%)と計画された。1月に入り東日本を中心に冷え込みが厳しいことや、出荷直前の伸びの悪さの改善が来ていないこと等から重量ベースで計画を下回ることも予想される。</p>	
2. 輸入	<p>(1) 財務省がH31年1月30日公表した貿易統計によるとH30年12月の鶏肉(原料肉)輸入量は47.0千ト(前年比101.1%)で前月を約4千ト上回った。年間では史上3位の560.3千トと高水準を記録した。輸出入協会ではH31年1月45.4千ト(同94.0%)・2月48.5千ト(同103.9%)と予測しており、「ブラジル産の相場は年末から上昇傾向にあるが、今後の船積み数量や為替相場の変動による影響に注目。またタイ産は一部で荷動きが重くなっており相場も弱気で推移しているが、中国市場の動きによっては今後反転する可能性も否定できない。」とコメントしている。</p> <p>(2) 鶏肉調整品のH30年12月輸入量は46.1千ト(前年比95.8%)となり、年間累計で初めて500千トを超えて513.7千トとなった。タイが303千ト(同103.3%)と前年を上回り、中国も平成26年に期限切れ鶏肉問題が発生し減少していたが徐々に回復傾向にある。平成7年が55千トだったため24年間で約10倍に拡大した。タイ・中国両国にて日系企業の参画による日本向け商品の増加と共に量販店や業務用等の需要が拡大しており、さらに今年10月には消費税率の引き上げに伴う飲食料品の軽減税率の適用により、外食から中食(惣菜品等)へと消費が移行するという見方もあり、惣菜向けに需要の高い鶏肉調整品の輸入は底堅く推移するものと考えられている。</p>	
需 要	1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、11月は、全国一世帯当たりの3畜種消費(購入)数量は3,867g(前年比101.7%)と前年を上回ったが金額は5,621円(同97.8%)と下回った。全国的に晴れた日が多く、気温も平年を上回ったため鍋物需要が低調だったことも要因と思われる。豚肉は購入頻度が前年を上回ったものの安価な輸入品の影響が考えられる。鶏肉についても、むね肉の需要拡大等で数量は1,461g(同101.2%)と前年を上回ったが、金額は相場安・単価安もあり1,339円(同96.5%)と2か月連続で前年を下回った。
	2. 量販・卸	(1) スーパー3団体による「12月の畜産部門の売上高は1,227億円で全店ベース前年比0.2%増も既存店ベースでは同0.9%減少した。中旬までは前年より気温が高く鍋物用等の動きが悪かったものの、下旬から気温が低下し、クリスマスから年末にかけては総じて動きがよくなった。豚肉は相場が下落傾向にあり数量を伸ばした店舗が多かった。牛肉は輸入牛中心に焼肉・ステーキ用は好調も和牛からシフトしたことによる単価が下落した店舗もみられた。鶏肉については相場低下も影響し、前半の不振を後半カバーできなかった店舗が多かったと報告された。食肉速報によると年末の売れ筋は国産も肉に集中し、価格は企業間で差がみられたものの、販売数量の増加を達成した企業はなかったとされた。また、惣菜部門におけるクリスマス商戦は、平日となった影響でオードブルの動きが悪い一方で、チキンや寿司が好調だったとの報告もある。
	3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合による11月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比101.2%の4.8千ト。うち国内物は同98.2%の3.9千トと前年を下回り、反面輸入物は同116.3%の0.9千トと報告された。輸入物は1-11月累計でも同130.8%と大幅に増加しているものの、全体の18.1%となっている。サラダチキン向け等の需要が堅調であるなか輸入物の比率が着実に伸びてきたが、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることや、国産志向や味の面から国産むね肉での製造が見直される傾向にある。
在 庫	1. 30年11月	(1) 推計期末在庫は国産28.4千ト(前年比104.1%・前月差△0.5千ト)、輸入品137.8千ト(同91.3%・同△0.07千ト)と合計で166.2千ト(同93.2%・同△0.5千ト)となった。生産量が2.5千ト減少し、輸入量も11.2千ト減少した。そのため推定出回り量は、国産が0.9千ト減少の126.7千ト、輸入品も8.3千ト減少の43.2千トとなった。
	2. 見通し	<p>(1) 12月は国内生産量が前月比で23.5千ト増加、輸入量も約5千ト増加。暖冬ではどの予測はあるものの、クリスマス・年末特需で出回り量の増加が見込まれるため、期末在庫は160千トを下回る見通し。</p> <p>(2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、1月は前月比で生産量が19千ト減少し、輸入量もブラジル中心に2.7千ト減少するも、出回り量も34.3千トと大幅に減少することから、期末在庫は国産・輸入品合計で5.8千ト増加の165.2千ト。2月は生産量が7千ト減少も、輸入量がブラジル中心に3.1千ト増加し、出回り量も2.6千ト増加することにより、在庫は0.7千ト減少の164.5千ト(前年比87.9%)とされている。産地の生育状況の急回復が見込めないなか、直近の冷え込みからの鍋物需要等で、若干在庫減少に向かうこともあり得ると思われる。</p>
相 場	1. 1月動向	(1) 1月の平均相場は、もも肉648円/kg(前月比30円上げ)・むね肉271円/kg(同8円上げ)、正肉合計で919円/kgと前月比22円上げも、前年比では66円の下げとなった。もも肉は年始662円でスタートし、乱高下しながらも予想よりは若干強めの価格で推移した。むね肉は、量販店等でも肉の需要に集中したことや、安価な豚肉の出回り等で特売需要が減少していること等もありジリ安の展開となった。
	2. 2月見通	(1) 北日本を中心に寒波の襲来が予報されるなか鍋需要も最盛期を迎えるが、もも肉中心での需要はある程度見込めるものの、豚肉の価格に力強さがなく、それに引きずられるようにジリ安傾向となり、もも肉は月平均で630円と予測。むね肉は加工需要もある程度あり、大幅な下落も考えにくいため月平均で若干の下げで265円と予測する。

実 績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	H30年12月推計実績		H30年累計		H31年1月計画		H31年2月計画		H31年3月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	65,589	101.0%	741,171	101.6%	64,203	102.0%	58,940	103.6%	61,719	98.8%
処理羽数	63,811	99.8%	696,161	102.1%	57,682	101.5%	55,663	102.3%	60,279	99.3%
処理重量	188.7	97.3%	2,064.1	101.2%	170.6	99.7%	165.3	101.6%	179.1	99.3%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
鶏肉										
調製品										
H30年9月	40.3	55.4	72.7	38.2	39.6	96.4	78.4	95.0	82.6	51.3
H30年10月	54.4	57.8	94.1	50.5	42.4	118.9	104.9	100.3	104.6	51.9
H30年11月	43.2	57.1	75.7	50.0	46.5	107.5	93.2	103.6	89.9	46.3
H30年12月	47.0	46.5	101.1	46.1	48.1	95.8	93.1	94.6	98.4	50.5
H30年累計	560.3	569.5	98.4	513.7	486.8	105.5	1,074.0	1,056.3	101.7	52.2

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年9月	1,368	1,342	101.9	1,302	1,269	102.6
H30年10月	1,480	1,447	102.3	1,371	1,403	97.7
H30年11月	1,461	1,443	101.2	1,339	1,387	96.5
H30年平均	1,373	1,333	103.0	1,292	1,281	100.9

※参考資料:総務省統計局HP

相場(年別・暦年) 単位:円

年別	もも肉			むね肉			計
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
H25年	583	246	829				
H26年	626	294	920				
H27年	639	336	975				
H28年	621	255	876				
H29年	626	315	941				
H30年	595	282	877				

在庫状況 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年8月	28.9	27.0	107.0	140.1	130.8	107.0	169.0	157.9	107.0
H30年9月	27.8	29.5	94.1	135.0	131.9	102.3	162.8	161.5	100.8
H30年10月	28.9	26.8	107.8	137.8	144.5	95.4	166.8	171.3	97.3
H30年11月	28.4	27.3	104.1	137.8	150.9	91.3	166.2	178.2	93.2

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年10月	570	583	97.8	270	322	83.9	840	905	92.8
H30年11月	588	605	97.2	274	319	85.9	862	924	93.3
H30年12月	618	644	96.0	279	318	87.7	897	962	93.2
H31年1月	648	673	96.3	271	312	86.9	919	985	93.3
H31年2月	(630)	663	95.0	(265)	304	87.2	(895)	967	92.6
H31年3月	(620)	637	97.3	(265)	305	86.9	(885)	942	93.9
H30年平均	595	626	95.0	282	315	89.5	877	941	93.2

※()は見通し  
※1-12月平均